令和6年度入学者向け
京都工芸繊維大学
一　般　選　抜
学 生 募 集 要 項

Kyoto Institute of Technology, **2024**

工芸科学部

応用生物学域 ―――	応用生物学課程
物質・材料科学域 ―	応用化学課程
設計工学域 ―――	電子システム工学課程 情報工学課程 機械工学課程
デザイン科学域 ――	デザイン・建築学課程

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

目　次

１．試験実施方法及び募集人員 …… 1
２．国公立大学への出願について …… 2
３．出願資格 …… 2
４．出願手続（インターネット出願） …… 3
⑴　出願書類 …… 3
⑵　検定料 …… 4
⑶　出願期間及び出願先 …… 4
⑷　障害等のある人との事前相談について …… 4
⑸　出願状況の情報提供 …… 4
●　出願についての注意 …… 5
５．アドミッションポリシー …… 6
６．入学者選抜方法 …… 8
⑴　２段階選抜 …… 8
⑵　実施教科・科目等 …… 8
⑶　教科・科目等別配点表 …… 10
⑷　学力検査等のねらい …… 11
⑸　個別学力検査等の実施日時 …… 12
●　受験についての注意 …… 13
７．試験場 …… 13
８．合格者発表 …… 14
９．入学手続 …… 14
10．欠員補充 …… 14
11．入学に要する諸経費 …… 15
12．取得できる資格等 …… 15
13．入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予 …… 16
14．奨学金制度 …… 16
15．アルバイト紹介 …… 17
16．住まい …… 17
17．入学試験成績の開示について …… 17
18．地域創生 Tech Program について …… 18
19．学部・学域・課程紹介 …… 19

■　令和６年度工芸科学部１年次学生募集人員
■　出願書類等
大学入学共通テスト受験教科・科目確認表
※入学願書、受験票、宛名ラベル（大学送付用）の様式見本は別途掲載します。
■　入学試験成績開示請求書
■　試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内

令和６年度
京都工芸繊維大学一般選抜　学生募集要項

１．試験実施方法及び募集人員

本学の一般選抜は、分離分割方式による「前期日程」と「後期日程」で実施します。

工芸科学部

学域	課　　程	募集人員		
		一般プログラム		地域創生 Tech Program
		前期日程	後期日程	前期日程
応用生物学域	応用生物学課程	22	10	若干名
物質･材料科学域	応用化学課程	95	24	若干名
設計工学域	電子システム工学課程	34	10	若干名
	情報工学課程	30	15	若干名
	機械工学課程	48	15	若干名
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	105	—	若干名
合　計		334	74	—

注１．一般選抜前期日程では、出願時に一般プログラムと地域創生 Tech Program（18 ページ参照）から、志望するプログラムを選択してください。第１志望で地域創生 Tech Program を選択した志願者は、同一課程に限り、第 2 志望に一般プログラムを選択することが可能です。選択しなかったプログラムで合格することはありません。また、インターネット出願システム登録後、選択したプログラムや志望順位を変更することはできません。
選抜の結果、第２志望のプログラムで合格することがあります。その場合、第１志望のプログラムで入学辞退者が生じた場合であっても、第 1 志望のプログラムで追加合格となることはありません。また、志望しなかったプログラムで追加合格することもありません。

注２．工芸科学部全体の募集人員及び募集人員の取り扱いについては、巻末「令和６年度工芸科学部１年次学生募集人員」をご確認ください。

２．国公立大学への出願について

⑴　国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）への出願者は、「前期日程」の大学・学部のうちから一つ、「後期日程」の大学・学部のうちから一つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期日程と前期日程」及び「後期日程と後期日程」の大学・学部を併願することはできません。

※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?cat=26）参照

⑵　前期日程の国公立大学・学部に合格し、令和６年３月 15 日（金）までに入学手続を完了した人は、出願又は受験済みの他の日程の国公立大学・学部の合格者とはなりません。

３．出願資格

本学に出願できる人は、次のＡからＪのいずれかに該当し、令和６年度大学入学共通テストのうち、本学が指定した教科・科目を受験した人に限られます。

なお、入学願書が受理されていても、本学が指定した教科・科目を受験していない人は、出願無資格者となり、受験することができません。（8～9 ページ「⑵　実施教科・科目等」参照）

Ａ　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和６年３月 31 日までに卒業見込みの人

Ｂ　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの人

Ｃ　外国において学校教育における 12 年の課程を修了した人及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの

Ｄ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの人

Ｅ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの人

Ｆ　外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルの資格を有した人及び令和６年３月 31 日までに資格を有する見込みの人

Ｇ　国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した人及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの人

Ｈ　文部科学大臣の指定した人（昭和 23 年文部省告示第 47 号第１号～第 19 号）

Ｉ　高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和６年３月 31 日までに合格見込みの人

Ｊ　本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、平成 18 年４月１日までに生まれた人

出願資格Ｊに係る個別の入学資格審査の申請について
（出願資格Ｊ以外で出願する人は不要です。）

１．個別の入学資格審査の申請を行うことができる人
学校教育法施行規則第 150 条第７号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに 18 歳に達している人。

２．提出書類
(1) 入学資格審査申請書　(2) 経歴書　(3) 出身学校等の卒業（見込）証明書
(4) 出身学校等における学習歴を証明する書類　(5) 出身学校等の学則　(6) 出身学校等の教育課程表
(7) 社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類
(8) 返信用封筒（長形３号の封筒に、664 円分の切手を貼り、申請者の宛先・氏名を明記すること）

３．審査体制
本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。
審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。

４．提出方法
持参又は書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書し郵送すること。

５．入学資格審査申請期間
令和５年９月１日（金）から令和６年１月 17 日（水）（17 時必着）

６．審査結果
審査後、速やかに本人宛郵便により通知します。

７．本件に関する問合せ先及び書類提出先
巻末問合せ先・書類提出先参照

４．出願手続（インターネット出願）

出願期間内に、次のとおり手続きを行ってください。

本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報を入力したのち、入力内容が正しいことを十分に確認したうえで、画面の指示に従って検定料を支払ってください。

支払方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM（ペイジー）より選択可能です。詳細は、4ページ「⑵　検定料」を参照してください。なお、検定料支払が完了すると①入学願書及び③宛名ラベルを印刷できるようになります。

入学願書を印刷後、市販の封筒（角形2号が望ましい）に下記①及び②を一括して封入のうえ、③を封筒に貼付し、郵便局で「書留・速達」郵便の手続きをする等、送達過程を記録する方法により送付してください。**直接持参しても受け付けません。インターネット出願システムに登録しただけでは受け付けとなりません。**必ず出願書類を郵便等により提出してください。なお、本学の前期日程と後期日程を併願する場合は、1つの封筒に前期日程の出願にかかる書類と後期日程の出願にかかる書類を同封してください。

⑴　出願書類

① 入学願書

インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の写真（上半身、脱帽、正面向き、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続を行い、入学願書を印刷してください。印刷した入学願書の所定の欄に**「令和6共通テスト成績請求票」**（前期日程出願者は**「前 国公立前期日程用」**、後期日程出願者は**「後 国公立後期日程用」**）を貼ってください。

※同時に印刷される受験票については、試験当日に持参してください。郵送されても、返送しません。なお、誤って送付した場合又は紛失した場合は再度印刷してください。

② 調査書　※前期日程と後期日程の両方を出願する場合は、それぞれ1通ずつ必要です。

文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。

＊卒業後5年を経過した場合は「卒業証明書」と「単位修得証明書」を、卒業後20年を経過した場合は「卒業証明書」を提出してください。

出願資格のＣからＩに該当する出願者は、出願資格及び学業成績に関する証明書をもって調査書に代えることができます。英語以外の外国語で作成されている場合は、日本語又は英語訳も添付してください。科目名や成績評価が符号や略号で表されている場合は、その説明書を日本語又は英語で添付してください。

〇出願資格Ｃに該当する場合

ⅰ.卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

ⅱ.成績証明書

ⅲ.日本の高等学校に在学していたことがある人は、その高等学校の調査書

ⅳ.インターナショナルスクール及びこれに準ずる学校出身者は、所在国において学校教育の正規課程として認定されていることを証明する書類

〇出願資格Ｄ、Ｆ、Ｇ、Ｈに該当する場合

大学入学資格を取得したことを示す証明書（例：国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証明書）のコピー及び資格試験の成績証明書

※該当する場合で提出書類が不明の場合は、巻末問合せ先に相談してください。

〇出願資格Ｉに該当する場合

高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む。）合格者は、「合格成績証明書」をもって調査書に代えることができます。ただし、試験科目の一部に免除された科目がある場合は、その科目にかかる高等学校等の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。

③ 宛名ラベル（大学送付用）

インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルは、入学願書等を郵送する封筒に貼付して、使用してください。

その他、授業料免除を希望する外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）のうち、次のいずれかに該当する人は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。（16ページ13.「⑵　授業料免除」参照。下記以外の人は、入学手続後に申請を受け付けます。出願時の提出は不要です。）

ⅰ.私費外国人留学生

ⅱ.出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）

⑵　検定料

　　１７，０００円

支払方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM（ペイジー）より選択可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払いには別途手数料がかかります。

◎出願期間の概ね１年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人及び平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により被災した人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

⑶　出願期間及び出願先

①　出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類受理期間）

前期日程及び後期日程とも「書留・速達」郵便等、送達過程を記録する方法により送付し、次の期間に本学に届くことが必要です。

出願期間	令和 6 年 1 月 22 日（月）から令和 6 年 2 月 2 日（金）（日本時間）

ただし、出願期間最終日（令和 6 年 2 月 2 日（金））までの消印（日本国内）があるものについては受け付けます。なお、海外から出願を検討している人は、できるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

②　出願先

巻末書類提出先参照

③　受験票

受験票は、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

⑷　障害等のある人との事前相談について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ巻末問合せ先に申し出てください。

なお、申し出に基づき相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

①　相談の時期

原則として、令和 6 年 1 月 19 日（金）まで

②　相談の方法

相談書（健康診断書等必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者など）との面談等を行います。

③　連絡先

巻末問合せ先参照

⑸　出願状況の情報提供

出願期間中の出願状況については、本学ホームページ（巻末問合せ先参照）において随時公表します。

● 出願についての注意

① 次の場合は、出願書類を受理しません。

ア．インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

イ．出願書類がそろっていない場合

ウ．出願書類の記載が不完全な場合

エ．検定料が支払われていない場合

② 本学では、前期日程と後期日程との学内併願を認めます。

③ インターネット出願システム登録後は、日程、志望課程、受験科目、及び前期日程においては志望するプログラムや志望順位の変更を認めません。

④ 出願書類はいかなる理由があっても返還しません。また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

ア．検定料の全額を返還請求できるもの

(a) 検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合

(b) 検定料を誤って二重に支払った場合

イ．検定料の一部を返還請求できるもの

出願受付後に、本学が指定した大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

＊検定料返還請求の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

⑤ 大学入学共通テスト成績請求票の再発行を受けた人は、再発行された成績請求票以外の成績請求票を使用することはできません。それ以外を使用した場合は、入学願書が受理されていても失格となります。

⑥ 国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者が、令和 6 年 2 月 19 日（月）までに当該大学の定める手続による入学辞退の許可を得ないまま本学を受験しても、合格者にはなりえません。

⑦ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。

注１ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

注２ 出願書類にかかる個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続にのみ使用します。

注３ 入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の選考にのみ使用します。

5. アドミッションポリシー

学部	学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 ・自然科学を学ぶための生物、化学、数学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
	物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
	設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える基幹産業で活躍する人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
		情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的な思考力や表現力 ・好奇心、チャレンジ精神と行動力
		機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に着けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 ・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端が同居する京都という地の特性を活かして、〈KYOTO デザイン〉教育、すなわち地域に根ざすと同時に国際的な競争力のある都市・建築教育を行い、建築家、建築技術者、都市プランナー、修復建築家等の高い実践力を持つ人材を育成します。また、プロダクト、ヴィジュアル、スペース等ものづくりに関わる専門的デザイン能力をベースにしていますが、一方でこうしたものづくりに留まらず、産業構造の変化等を見据え、時代に応じて変化する社会的な課題に対し、「デザイン思考」の展開によって新たなサービスの創造や社会実装化に期待が向けられてきており、そのために異分野の専門家とも積極的に協働して、デザインの知識を活かしたイノベーション（Design Driven Innovation）を実現できる人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力や総合的な学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査等と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生Tech Programでは、6ページに記載する各課程のアドミッションポリシー（一般プログラム）に加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力や総合的な学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査等と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

６．入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト並びに本学が行う個別学力検査、その他の能力・適性等に関する検査の成績、調査書の内容等を総合して判定します。

⑴　２段階選抜　　全ての課程において、実施しません。

⑵　実施教科・科目等

大学入学共通テストにおいて下記の教科・科目を受験していない場合は、出願無資格者となり、受験することができません。

■前期日程

学部	学域	課程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	備考
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1	理科	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から2	
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B			
			理科	物理、化学、生物、地学から2	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	
			外国語	英、独、仏、中、韓から1　（5教科7科目）			
	物質・材料科学域	応用化学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1	理科	「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」	
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	
			理科	物理、化学			
			外国語	英、独、仏、中、韓から1　（5教科7科目）			
	設計工学域	電子システム工学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1	理科	物理基礎・物理	
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	
			理科	物理と「化学、生物、地学から1」			
			外国語	英、独、仏、中、韓から1　（5教科7科目）			
		情報工学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1	理科	物理基礎・物理	
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	
			理科	物理と「化学、生物、地学から1」			
			外国語	英、独、仏、中、韓から1　（5教科7科目）			
		機械工学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1	理科	物理基礎・物理	
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	
			理科	物理と「化学、生物、地学から1」			
			外国語	英、独、仏、中、韓から1　（5教科7科目）			
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ	
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B	総合問題		
			理科	物理、化学、生物、地学から2			
			外国語	英、独、仏、中、韓から1　（5教科7科目）			

注　意　事　項

〇大学入学共通テストについて

1. 外国語
   英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、10ページに記載する前期日程の各課程の配点に換算します。
   なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりませんが、その場合、リスニングテストの点数を0点とします。
   また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、10ページに記載する前期日程の各課程の配点に換算します。
2. 段階表示について
   出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。
3. 各科目名は、次のとおり略して表記しています。
   世界史A→世A　　世界史B→世B　　日本史A→日A　　日本史B→日B
   現代社会→現社　　倫理→倫　　政治・経済→政経　　倫理、政治・経済→「倫、政経」
   数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A　　数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B
   英語→英　　ドイツ語→独　　フランス語→仏　　中国語→中　　韓国語→韓

〇個別学力検査等について

1. 数　学
   数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
2. 総合問題
   「総合問題」は、複数の教科を総合して学力を判定する総合的な問題です。
   提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。
3. 各科目名は、次のとおり略して表記しています。
   数学Ⅰ→数Ⅰ　　数学Ⅱ→数Ⅱ　　数学Ⅲ→数Ⅲ　　数学A→数A　　数学B→数B

〇英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

■後期日程

学部	学域	課程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 教科	科目名等	個別学力検査 教科等	科目名等	備考
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	国語	国語			
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1			
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B	個別学力検査は実施しません		
			理科	物理、化学、生物、地学から2			
			外国語	英（5教科7科目）			
	物質・材料科学域	応用化学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1			
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B			
			理科	物理、化学			
			外国語	英（5教科7科目）			
	設計工学域	電子システム工学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1			
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B			
			理科	物理と「化学、生物、地学から1」			
			外国語	英（5教科7科目）			
		情報工学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1			
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B			
			理科	物理と「化学、生物、地学から1」			
			外国語	英（5教科7科目）			
		機械工学課程	国語	国語	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
			地理歴史・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、「倫、政経」から1			
			数学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B			
			理科	物理と「化学、生物、地学から1」			
			外国語	英（5教科7科目）			
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	後期日程での学生募集は実施しません				

注 意 事 項

〇大学入学共通テストについて

1. 外 国 語
   英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、10ページに記載する後期日程の各課程の配点に換算します。
   なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりませんが、その場合、リスニングテストの点数を0点とします。
   また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、10ページに記載する後期日程の各課程の配点に換算します。
2. 段階表示について
   出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。
3. 各科目名は、次のとおり略して表記しています。
   世界史A→世A　世界史B→世B　日本史A→日A　日本史B→日B
   現代社会→現社　倫理→倫　政治・経済→政経　倫理、政治・経済→「倫、政経」
   数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A　数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B
   英語→英

〇個別学力検査等について

1. 数　学
   数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
2. 各科目名は、次のとおり略して表記しています。
   数学Ⅰ→数Ⅰ　数学Ⅱ→数Ⅱ　数学Ⅲ→数Ⅲ　数学A→数A　数学B→数B

〇英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

⑶　教科・科目等別配点表

日程	学部・学域・課程		試験区分・科目	大学入学共通テスト							個別学力検査等							合計
				国語	地理歴史・公民	数学		理科②	外国語	小計	学力検査					総合問題	小計	
						①	②				数学	理科			英語			
												生物	化学	物理				
前期日程	工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	75	25	50	50	2科目 各50	100	400	200	2科目 各200			200	―	800	1,200
		物質・材料科学域	応用化学課程	100	50	50	50	2科目 各50	50	400	200	―	1科目 200		200	―	600	1,000
		設計工学域	電子システム工学課程	100	50	50	50	2科目 各50	100	450	300	―	―	200	200	―	700	1,150
			情報工学課程	100	50	50	50	2科目 各50	100	450	300	―	―	200	200	―	700	1,150
			機械工学課程	100	50	50	50	2科目 各50	100	450	300	―	―	200	200	―	700	1,150
		デザイン科学域	デザイン・建築学課程	50	50	50	50	2科目 各50	100	400	200	―	―	―	200	200	600	1,000
後期日程	工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	70	30	100	100	2科目 各100	200	700	―	―	―	―	―	―	―	700
		物質・材料科学域	応用化学課程	50	50	50	50	2科目 各50	100	400	200	―	―	―	―	―	200	600
		設計工学域	電子システム工学課程	100	50	50	50	物理 200 その他1科目 50	200	700	300	―	―	―	―	―	300	1,000
			情報工学課程	100	50	50	50	2科目 各50	200	550	300	―	―	―	―	―	300	850
			機械工学課程	100	50	50	50	2科目 各50	200	550	300	―	―	―	―	―	300	850
		デザイン科学域	デザイン・建築学課程															

注　意　事　項

〇大学入学共通テストについて

1. 数学①は「数Ⅰ・数A」、数学②は「数Ⅱ・数B」を表します。
2. 理科②は「物理、化学、生物、地学」のうち8～9ページ「⑵　実施教科・科目等」に指定する科目を表します。

〇個別学力検査等について

1. 「数学」は「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B」、「物理」は「物理基礎・物理」、「化学」は「化学基礎・化学」、「生物」は「生物基礎・生物」、「英語」は「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ」を表します。
2. 「総合問題」は、複数の教科を総合して学力を判定する総合的な問題です。
   提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。

⑷　学力検査等のねらい

学部・学域・課程 ＼ 試験区分			大学入学共通テスト	個別学力検査等	
				個別学力検査 教科・科目試験	総合問題
			指定教科・科目の基礎学力の程度を検査する。	専門教育の基礎となる教科・科目の学力を検査する。	教科・科目の枠を超えて、総合的な学力を検査する。
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	○	○	—
			○		
	物質・材料科学域	応用化学課程	○	○	—
			○	○	—
	設計工学域	電子システム工学課程	○	○	—
			○	○	—
		情報工学課程	○	○	—
			○	○	—
		機械工学課程	○	○	—
			○	○	—
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	○	○	○

※　各課程欄の上段は前期日程、下段は後期日程を示します。

⑸　個別学力検査等の実施日時

■前期日程

課程	日	時	科目等
応用生物学課程	令和6年2月25日（日）	9：30～11：30（120分）	英語
		13：30～15：30（120分）	数学
	令和6年2月26日（月）	9：30～12：30（180分）	理科（物理・化学・生物）
応用化学課程	令和6年2月25日（日）	9：30～11：30（120分）	英語
		13：30～15：30（120分）	数学
	令和6年2月26日（月）	9：30～11：00（90分）	理科（物理又は化学）
電子システム工学課程	令和6年2月25日（日）	9：30～11：30（120分）	英語
		13：30～15：30（120分）	数学
	令和6年2月26日（月）	9：30～11：00（90分）	理科（物理）
情報工学課程	令和6年2月25日（日）	9：30～11：30（120分）	英語
		13：30～15：30（120分）	数学
	令和6年2月26日（月）	9：30～11：00（90分）	理科（物理）
機械工学課程	令和6年2月25日（日）	9：30～11：30（120分）	英語
		13：30～15：30（120分）	数学
	令和6年2月26日（月）	9：30～11：00（90分）	理科（物理）
デザイン・建築学課程	令和6年2月25日（日）	9：30～11：30（120分）	英語
		13：30～15：30（120分）	数学
	令和6年2月26日（月）	9：30～12：00（150分）	総合問題

■後期日程

課程	日	時	科目等
応用生物学課程	個別学力検査は実施しません		
応用化学課程	令和6年3月12日（火）	10：30～12：30（120分）	数学
電子システム工学課程	令和6年3月12日（火）	10：30～12：30（120分）	数学
情報工学課程	令和6年3月12日（火）	10：30～12：30（120分）	数学
機械工学課程	令和6年3月12日（火）	10：30～12：30（120分）	数学

● 受験についての注意

① **「試験当日の注意事項」を、本学ホームページ（巻末問合せ先参照）において、試験実施日の1週間前を目途に掲載します。**また、試験の前日の下見時間（**前期日程は2月24日（土）の9時から16時30分まで、後期日程は3月11日（月）の14時から16時30分まで**）に試験場に掲示します。**受験生は必ず「試験当日の注意事項」を読んでその指示に従ってください。**

② 受験生は、試験の当日、次のものを持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合又は忘れた場合は、試験場本部へ申し出てください。

ア．令和6年度京都工芸繊維大学受験票

イ．令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票

③ 試験当日の集合時刻は、「試験当日の注意事項」でお知らせします。

④ 試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。

⑤ 指定の科目を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

⑥ 試験当日は「黒鉛筆又はシャープペンシル」と「消しゴム」を持参してください。試験時間中に机の上に置けるものは、受験票に記載しています。

⑦ 試験中は、受験票並びに監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。

⑧ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、又は監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。

⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に試験場本部に申し出てください。

⑩ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が次の試験時間の遅刻限度20分以上を経過した場合は、当該試験の受験も認めません。

⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。

⑫ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

７．試験場（巻末の試験場への案内参照）

京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス（前期日程・後期日程）
（京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地）

≪試験場来場にあたっての注意≫

試験場へは公共交通機関又は徒歩にて来場してください。公共交通機関を利用する場合は、天候等も考慮し、時間に余裕をもって、早めに移動することを心がけてください。

なお、試験場及びその周辺には駐車、駐輪できる場所はありません。また、自動車、バイク、自転車での来場は、受験生及び近隣住民、本学関係者の通行にかかる安全面への配慮から、保護者等による送迎も含め禁止します。

８．合格者発表

次の日時に合格者の受験番号を**本学ホームページ（巻末問合せ先参照）**に発表します。
なお、合格者には合格通知書及び入学手続書類を郵送します。
また、個別の試験結果の照会には応じられません。

前期日程	**令和６年３月６日（水）17 時（予定）**
後期日程	**令和６年３月 22 日（金）13 時（予定）**

９．入学手続

⑴　合格者は、次の期間に入学手続を行ってください。入学手続として、「大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」の提示及び入学料（15 ページ「11．入学に要する諸経費」参照）の納入が必要です。
期日までに入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものとして取扱います。
なお、入学手続に必要な書類については、合格通知に同封します。

前期日程	**令和６年３月７日（木）から令和６年３月 15 日（金）17 時（必着）まで**
後期日程	**令和６年３月 23 日（土）から令和６年３月 27 日（水）17 時（必着）まで**

⑵　本学に入学手続を行ったときは、これを取り消して他の国公立大学・学部へ入学手続をすることができません。また、他の国公立大学・学部へ入学手続を行ったときは、これを取り消して本学に入学手続をすることもできません。
ただし、後期日程の合格者で入学手続を完了した人が、前期日程の追試験を受験し合格者となった場合には、後期日程の入学手続を取り消して、前期日程の追試験で合格した国公立大学・学部に入学手続をすることができます。この場合は、追試験の合格者発表日まで、後期日程の入学料徴収を猶予しますので、後期日程の入学手続時に申し出てください。

⑶　他の国公立大学・学部の前期日程の追試験を受験している人の入学料納入に係る特例について
後期日程の合格者で、他の国公立大学・学部の前期日程の追試験を受験している人は、特例として、追試験の合格者発表まで入学料納入を猶予します。この場合、他の国公立大学・学部の前期日程の追試験に合格、入学手続し、本学の入学を辞退する際には、入学料を納入する必要はありません。

10．欠員補充

⑴　追加合格

入学手続完了者が募集人員に満たない課程が生じた場合は、前期日程、後期日程とも**令和６年３月 28 日（木）から３月 31 日（日）まで**、合格者を追加します。
追加合格者には、電話等でインターネット出願システムに入力された連絡先に連絡して入学意思の確認を行いますので、この期間内は本人と直接連絡できるようにしておいてください。
追加合格の実施の有無は、３月 28 日（木）に本学ホームページに発表します。
なお、追加合格の対象者は、いずれの国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）にも入学手続をしていない人です。本学から追加合格の対象者として連絡を受けた場合であっても、既に他の国公立大学・学部へ入学手続を行った人は、これを取り消して本学に入学手続をすることはできません。
本学からの連絡の際、再三にわたる連絡にもかかわらず、不在等のため出願者本人の意思確認ができなかった場合は、入学意思がないものとして取り扱うことがあります。
※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?cat=26）参照

⑵　第２次募集

追加合格により欠員を補充しても、なお入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、令和６年３月 31 日（日）に、第２次募集を行うことがあります。

この場合に出願できる人は、令和６年度大学入学共通テストのうち、本学が指定した教科・科目を受験した人で、かつ、次のいずれかに該当する人に限ります。

① 令和６年３月 23 日（土）の時点（国公立大学の一般選抜追試験を受験した人は国公立大学の一般選抜追試験の合格者発表がなされた時点）で、いずれの国公立大学にも合格していない人

② 令和６年３月 23 日（土）の時点（国公立大学の一般選抜追試験を受験した人は国公立大学の一般選抜追試験の合格者発表がなされた時点）で、国公立大学に合格していたが、第２次募集出願時にいずれの国公立大学にも入学手続をしていない人

③ いずれの国公立大学にも出願していない人

注１　第２次募集に出願できるのは、一つの大学・学部です。本学に出願した場合、他の国公立大学・学部に出願することはできません。

注２　第２次募集の出願後、他の国公立大学へ入学手続を行った場合、受験しても入学手続をすることはできません。

注３　地域創生 Tech Program に係る欠員補充第２次募集は行いません。

第２次募集を実施する場合は、決定次第、本学ホームページに発表します。

11. 入学に要する諸経費

⑴　入学料及び授業料

① 入　学　料

282,000 円

② 授　業　料

267,900 円（半期）　535,800 円（年額）

※　１．入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

２．入学料の納入は、入学手続時に行います。授業料の納入は、次項に示す納入月に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

３．授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の２期に区分して行います。納入月は、前期は４月、後期は 10 月で、それぞれの期において納入する額は、年額の２分の１に相当する額です。

４．納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑵　学生教育研究災害傷害保険料及び付帯賠償責任保険料

４年間の保険料　　4,660 円（予定）

※　１．その他、必要に応じて納入する諸経費があります。

２．納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。

３．令和６年３月 31 日（日）17 時までに入学を辞退した場合、入学料以外は返還します。返還の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。

12. 取得できる資格等

本学が特に定める教育課程を履修することによって取得することのできる資格等は、本学ホームページをご確認ください。なお、地域創生 Tech Program の学生については、資格等によっては、上位年次に配当されている科目を３年次前学期までに履修すること、３年次後学期以降も松ヶ崎キャンパスで開講される科目を受講することが必要な場合があります。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 学修関係 ＞ 取得できる資格）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/lesson_schedule/capacity/

13. 入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予

⑴ 入学料免除

「高等教育の修学支援新制度」(「授業料等減免」と「給付型奨学金」)の対象となる人は、申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する入学料免除制度はありません。(外国人留学生を除く)

外国人留学生は、令和5年4月以降に学資負担者が死亡し、又は入学する本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は、願い出により選考のうえ、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。
入学手続時に申請を受け付けます。

⑵ 授業料免除

「高等教育の修学支援新制度」(「授業料等減免」と「給付型奨学金」)の対象となる人は、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する授業料免除制度はありません。(外国人留学生を除く)

外国人留学生は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、学期毎の願い出により選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。
なお、令和6年度前期分授業料免除の申請方法は、在留資格によって次のとおり異なります。

● **令和6年度前期分の授業料免除の申請方法(外国人留学生)**

Ⅰ. 在留資格が「留学」の人及び入学時までに「留学」の在留資格を取得する人のうち、次のいずれかに該当する人

ⅰ.私費外国人留学生
ⅱ.出願時には国費外国人留学生であるが、入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人(国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。)

入学試験出願時に申請を受け付けます。出願期間後の申請は受け付けません。
申請書類は、本学ホームページ(https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)よりダウンロードしてください。
免除選考結果通知書は、入学試験の合格通知書と併せて送付します。
なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Ⅱ. 上記Ⅰ以外の在留資格の人

入学手続後に申請を受け付けます。
申請方法は、合格通知書と合わせて案内する入学手続書類で確認してください。

⑶ 入学料徴収猶予・授業料徴収猶予

経済的理由により納入期限までに入学料・授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、願い出により選考のうえ、徴収が猶予される制度があります。

⑷ 京都工芸繊維大学特待生制度

本学独自の制度として、各年次における学業成績が特に優秀な学生に対し、2、3、4年次において授業料の半期分を全額免除する特待生制度があります。

14. 奨学金制度

⑴ 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

⑵ その他の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。採用数は限られますが願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。
また、地域創生Tech Programでは、卒業後に京都府北部の地元企業への就職を希望する人を対象とする奨学金も予定されています。

15. アルバイト紹介

本学では、アルバイトを行う必要のある学生の皆さんに、入学後、京都工芸繊維大学アルバイト紹介システムによりアルバイトを紹介しています。パソコンや携帯電話からアルバイト求人情報を閲覧できます。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ アルバイトの紹介）
URL: https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/work/

16. 住まい

⑴ 松ヶ崎学生館

松ヶ崎学生館は、本学学生及び提携大学の留学生等の居住用施設として、松ヶ崎キャンパス西隣に設置された学生向け住居です。松ヶ崎学生館は、本学の協力のもと、株式会社ジェイ・エス・ビーにより管理・運営されています。

同館への入居をご希望の方は、同社関連の UniLife 松ヶ崎北山通店（以下参照）までお問合せください。なお、同店舗では松ヶ崎学生館以外の住まいも取り扱っています。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 住まい）
URL： https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/
◇松ヶ崎学生館（UniLife ホームページ内）：https://unilife.co.jp/view/10846/
◇UniLife 松ヶ崎北山通店（フリーダイヤル 0120-998-521）
店舗 URL： https://unilife.co.jp/store/292/

⑵ その他の住まい

ワンルームマンション、アパート等の物件に関する情報は、株式会社学生情報センター京都今出川店（本学業務委託事業者）にお問合せください。

◇本学ホームページ　トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 住まい
◇株式会社学生情報センター京都今出川店（フリーダイヤル 0120-356-546）
店舗 URL：https://749.jp/store/imadegawa/

17. 入学試験成績の開示について

本学では、令和６年度一般選抜の個人の試験成績を下記のとおり開示します。

⑴ 開示内容

①得点　本学配点による大学入学共通テスト及び個別学力検査等の科目別得点
②順位　募集単位毎の順位

⑵ 開示方法

Ａ．本学に入学した人の場合

本学入学後に利用可能となる「学内専用ＷＥＢシステム」により閲覧できます。システムの操作方法等は、入学後別途お知らせします。

閲覧可能期間：令和６年６月３日（月）から令和６年７月１日（月）まで

Ｂ．Ａ以外の場合

「入学試験成績開示請求」と明記した封筒に、以下のｉからⅲの必要書類を同封のうえ、令和６年６月１日（土）から令和６年６月 30 日（日）（消印有効）までの期間に巻末書類提出先へ郵便により請求してください。請求書受理後２週間程度で受験者本人宛に「簡易書留」にて郵送します。

ｉ．入学試験成績開示請求書
※巻末の所定用紙に必要事項を記入してください。
請求書の様式は、請求期間に本学ホームページにも掲載予定です。
ⅱ．請求する試験日程の本学受験票又は本人と確認できる書類（健康保険証等）のコピー（返信用封筒に同封して、返却します。）
ⅲ．404 円分の切手を貼った返信用封筒（長形３号：23.5cm×12cm）
※請求者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

⑶ 注意事項

①Ｂの場合、受験者本人からの請求に基づき開示します。（代理人は不可）
②入試課窓口での請求の受付は行いません。

18. 地域創生 Tech Program について

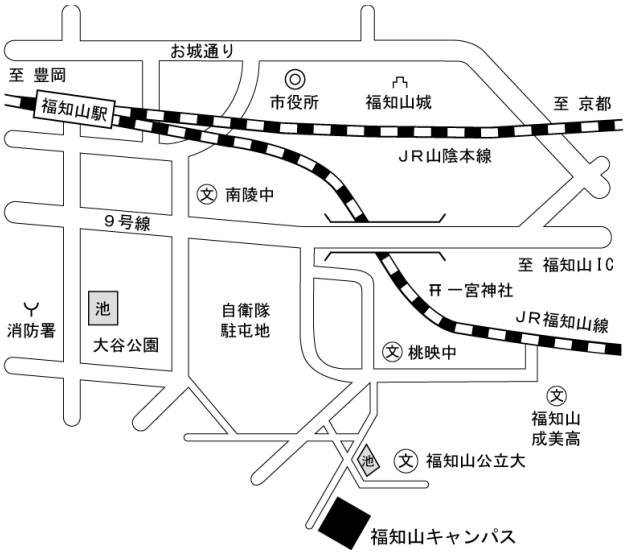
地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、1 年次から 3 年次前学期まで京都市の松ヶ崎キャンパスで開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

3 年次後学期には京都府北部の福知山キャンパスを中心として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。

福知山キャンパスの地図は以下のとおりです。福知山キャンパスと松ヶ崎キャンパスの距離は約 100km で、両キャンパスの移動は鉄道（特急利用）で片道約 2 時間を要します。



※入学試験の試験場は、京都市の松ヶ崎キャンパスです。福知山キャンパスでは入学試験を実施しませんので、注意してください。

※単位の修得状況によっては、福知山キャンパスで学ぶ時期が 3 年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに 3 年次編入学することはできません。

19. 学部・学域・課程紹介

本学では、学部・学科制にとらわれないプログラム中心の教育運営を行うために、学域、課程を設置しています。

工芸科学部及び各学域、課程の内容は本学ホームページをご確認ください。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学部・大学院・センター ＞ 工芸科学部）

URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/school-science-and-technology-color/

令和６年度工芸科学部１年次学生募集人員

<table>
<tr><th rowspan="3">課程</th><th rowspan="3">合計</th><th colspan="7">一般プログラム</th><th colspan="6">地域創生Tech Program</th></tr>
<tr><th rowspan="2">小計</th><th colspan="2">一般選抜</th><th colspan="2">ダビンチ入試
（総合型選抜）</th><th rowspan="2">学校
推薦型
選抜</th><th rowspan="2">特別
入試</th><th rowspan="2">小計</th><th rowspan="2">一般
選抜</th><th colspan="3">ダビンチ入試
（総合型選抜）</th><th rowspan="2">学校
推薦型
選抜</th></tr>
<tr><th>前期
日程</th><th>後期
日程</th><th>一般</th><th>グロー
バル</th><th>私費
外国人
留学生</th><th>前期
日程</th><th>一般</th><th>地域</th><th>社会人</th></tr>
<tr><td>応用生物学課程</td><td>50</td><td>48</td><td>22</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>10</td><td>若干名</td><td>2</td><td>若干名</td><td colspan="2">1</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>応用化学課程</td><td>169</td><td>166</td><td>95</td><td>24</td><td>6</td><td>3</td><td>38</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>電子システム工学課程</td><td>61</td><td>58</td><td>34</td><td>10</td><td>3</td><td>1</td><td>10</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>情報工学課程</td><td>61</td><td>58</td><td>30</td><td>15</td><td>5</td><td>1</td><td>7</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>機械工学課程</td><td>86</td><td>83</td><td>48</td><td>15</td><td>4</td><td>1</td><td>15</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>デザイン・建築学課程</td><td>156</td><td>148</td><td>105</td><td>－</td><td>30</td><td>3</td><td>10</td><td>若干名</td><td>8</td><td>若干名</td><td>4</td><td>2</td><td>若干名</td><td>2</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>583</td><td>561</td><td>334</td><td>74</td><td>53</td><td>10</td><td>90</td><td>－</td><td>22</td><td>－</td><td colspan="3">合わせて15</td><td>7</td></tr>
</table>

注１．一般選抜前期日程では、第１志望で地域創生 Tech Program を選択した志願者は、同一課程に限り、第２志望に一般プログラムを選択することが可能です。

注２．募集人員の取り扱いは次のとおりとします。

①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

②私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、一般選抜前期日程の募集人員に含まれます。

③地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生 Tech Program の各課程の募集人員に含まれます。

④地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。

⑤地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の学校推薦型選抜に含めます。
さらに、地域創生 Tech Program の学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。

⑥地域創生 Tech Program の入学手続者数（一般選抜（前期日程）においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注３．ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

注４．学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

出　願　書　類　等

＜前期日程＞
・大学入学共通テスト受験教科・科目確認表
・入学願書見本
・受験票見本
・宛名ラベル（大学送付用）見本

別途掲載します。

＜後期日程＞
・大学入学共通テスト受験教科・科目確認表
・入学願書見本
・受験票見本
・宛名ラベル（大学送付用）見本

＜前期日程と後期日程を併願した場合＞
・宛名ラベル（大学送付用）見本

別途掲載します。

■大学入学共通テスト受験教科・科目確認表

志望する課程が課す教科・科目を受験しているか確認欄でチェックしてください。
本学が指定した教科・科目を1つでも受験していない場合は、出願無資格者となり、受験することができませんので、十分注意してください。（この表は大学へ提出する必要はありません。）
なお、教科・科目の詳細については、8～9ページ「⑵　実施教科・科目等」を参照してください。

●前期日程

学部・学域・課程			教科・科目名等	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		確認
				教　科	科　目	
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
				外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	物質・材料科学域	応用化学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」	
				外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	設計工学域	電子システム工学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」、「生物」、「地学」から1	
				外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
		情報工学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」、「生物」、「地学」から1	
				外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
		機械工学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」、「生物」、「地学」から1	
				外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
				外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	

■大学入学共通テスト受験教科・科目確認表

志望する課程が課す教科・科目を受験しているか確認欄でチェックしてください。
本学が指定した教科・科目を1つでも受験していない場合は、出願無資格者となり、受験することができませんので、十分注意してください。（この表は大学へ提出する必要はありません。）
なお、教科・科目の詳細については、8～9ページ「⑵　実施教科・科目等」を参照してください。

●後期日程

学部・学域・課程			教科・科目名等	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		確認
				教　科	科　目	
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
				外国語	「英」	
	物質・材料科学域	応用化学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」	
				外国語	「英」	
	設計工学域	電子システム工学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」、「生物」、「地学」から1	
				外国語	「英」	
		情報工学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」、「生物」、「地学」から1	
				外国語	「英」	
		機械工学課程		国語	「国語」	
				地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
				数学①	「数Ⅰ・数A」	
				数学②	「数Ⅱ・数B」	
				理科②	「物理」	
					「化学」、「生物」、「地学」から1	
				外国語	「英」	
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程				

入 学 試 験 成 績 開 示 請 求 書

令和　　年　　月　　日

京都工芸繊維大学長　殿

（請求者）

ふりがな	
氏　　名	
住　　所	〒　　－
電話番号	―　　―　　（携帯可）
生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日　生

令和６年度入学者選抜試験に係る私の個人成績の開示を、下記のとおり請求します。

記

試　験　日　程	前　期　日　程	後　期　日　程
受 験 し た 課 程		
本 学 受 験 番 号		

（請求方法）

「入学試験成績開示請求」と明記した封筒に以下の書類を同封のうえ、**令和６年６月１日（土）から令和６年６月30日（日）（消印有効）まで**に京都工芸繊維大学入試課学部入試係（〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地）に**郵送**してください。

① 入学試験成績開示請求書（本用紙）
② 請求する試験日程の本学受験票又は本人と確認できる書類（健康保険証等）のコピー
③ 404円分の切手を貼った返信用封筒（長形３号：23.5cm×12cm）
※請求者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

大学使用欄　交 付 台 帳

請求受付年月日	照合･確認年月日	作成年月日	交付年月日	本人確認欄
				１　受験票
				２　健康保険証 その他（　　）

整理番号

試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内

■京都駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「京都」駅から「国際会館」行きに乗車

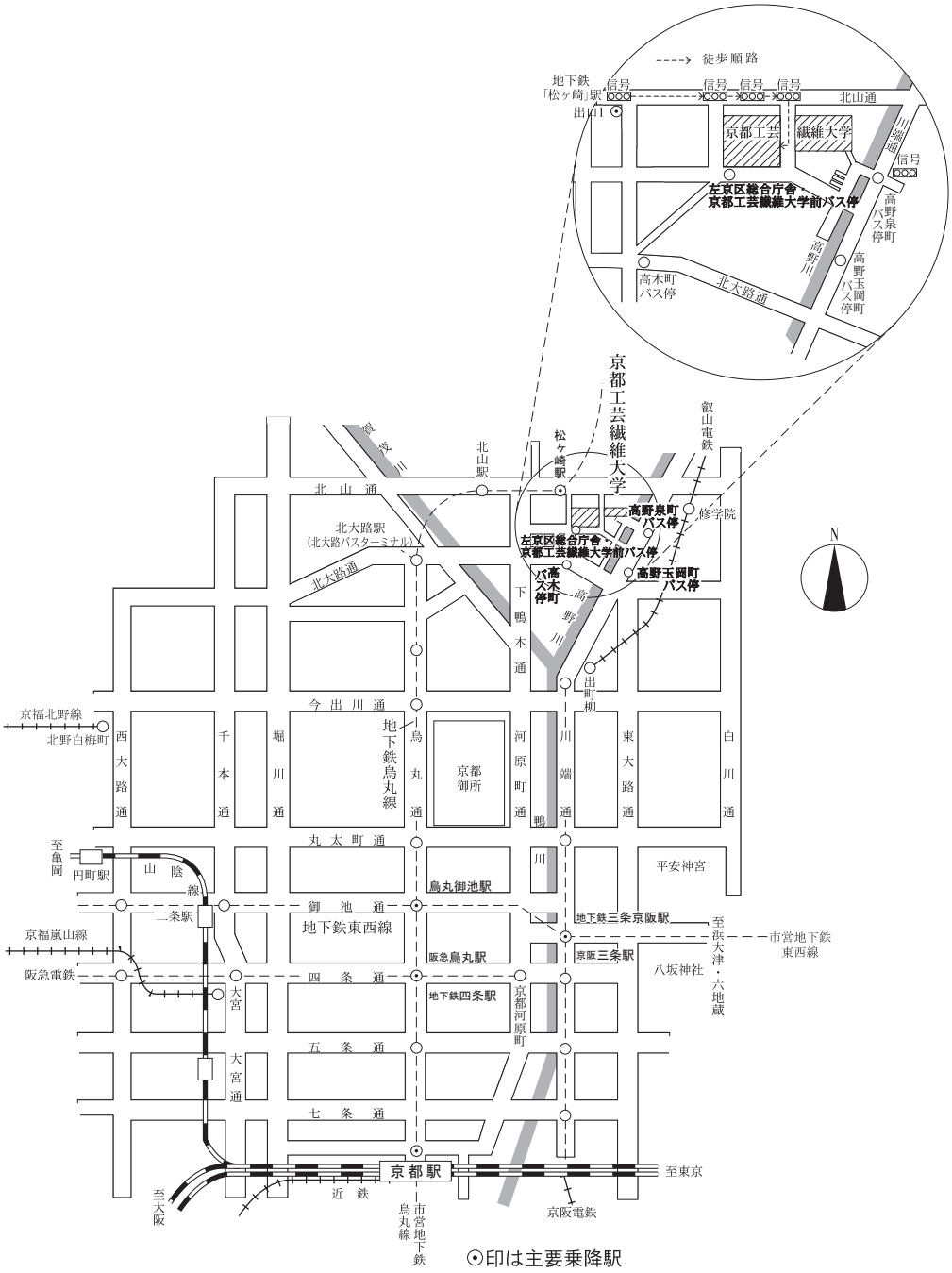
■阪急「烏丸」駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「四条」駅から「国際会館」行きに乗車

■京阪「三条」駅からお越しの場合

市営地下鉄東西線に乗換え、「三条京阪」駅から「太秦天神川」行きに乗車、「烏丸御池」駅で市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗換え

「松ヶ崎」駅下車、「松ヶ崎」駅から徒歩８分、（「松ヶ崎」駅「出口１」から右（東）へ、４つ目の信号を右（南）へ１８０ｍ



⊙印は主要乗降駅

京都工芸繊維大学　令和６年度一般選抜実施日程

	前 期 日 程	後 期 日 程
出　願　期　間	令和６年１月22日(月)～２月２日(金)消印有効	
個別学力検査等	２月25日(日)･26日(月)	３月12日(火)
合　格　発　表	３月６日(水)17時(予定)	３月22日(金)13時(予定)
入　学　手　続	３月７日(木)～15日(金)	３月23日(土)～27日(水)
追　加　合　格	３月28日(木)～31日(日)　※欠員が生じた場合のみ	
(参考) 大 学 入 学 共 通 テ ス ト	１月13日(土)･14日(日)	

発行年月　令和５年９月
問合せ先・書類提出先
京都工芸繊維大学　入試課学部入試係
〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地
TEL: 075-724-7164　FAX: 075-724-7160
e-mail: nyushi@kit.ac.jp
大学ホームページ: https://www.kit.ac.jp/
学部入試最新情報ページ: https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php

電話での問合せは、月～金（祝日・年末年始は除く）の９時～17時に受け付けます。

© 2023 Kyoto Institute of Technology